

**市川房枝** 婦人参政権運動一筋に生き、戦後は理想選挙を唱えて参議院議員となり、圧倒的な支持を得た。

いちかわふさえ

郡司千島探検1893 = 愛知県中島郡の農家に生まれた。

**日清戦争始**・1894 = 1歳：

Bushidou・・1899 = 6歳：尋常小学校に入学。

教科書疑獄・1902 = **9歳**：

日比谷公園・1903 = 10歳：高等小学校に入学。

忍耐強い母が父から殴られるのを見て育つ。

**日露戦争終**・1905 = 12歳：

**韓国反日暴動**1907 = 14歳：卒業。役所に渡米願いを出す、未成年のため不許可となり、家で農業を手伝う。

**アヲヲ 創刊**・1908 = 15歳：単身上京して女子学院に入学するが、帰郷、小学校の代用教員となる。

**伊藤博文暗殺**1909 = 16歳：岡崎の師範学校女子部に入学、

大逆事件判決1911 = **18歳**：

**明治天皇没**・1912 = 19歳：名古屋に新設の愛知女子師範学校に移る。校長に反発してストライキ。東京高等師範を受験、不合格。

大正政変・・1913 = 20歳：卒業。小学校の訓導となる。

民本主義・・1916 = 23歳：雑誌に投稿して掲載される。同居していた弟が死去。

**ロシア革命**・1917 = 24歳：退職し、名古屋新聞(現・中日新聞)の記者となるが、

本格政党内閣1918 = 25歳：退職。上京し、働きながら塾で英語を学び、**平塚らいてふらと知り合い**、

**ベルサイユ条約**・1919 = 26歳：**友愛会に入り、平塚らいてふらと新婦人協会を結成、以後、労働婦人問題にとりくむ。**

大暴落・・・1920 = **27歳**：**{女性同盟}を発刊。**

**原敬首相暗殺**1921 = 28歳：辞任し、**読売新聞特派員として渡米。苦学しつつ、婦人問題の研究に励み、**

護憲三派圧勝1924 = 31歳：**帰国して、ILOの東京支局開設に参加し、職員となる。婦人参政権獲得期成同盟会を結成。**

治安維持法・1925 = 32歳：**婦人問題研究所を設立。**

国際労働協会婦人委員会幹事。

金融恐慌・・1927 = 34歳：**{婦選}を発刊。ILOを辞し、以後は婦人参政権獲得のため運動ひとすじの道を歩む。**

共産党事件・1928 = 35歳：**ホノルルでの第一回汎太平洋婦人会議に出席、**

**世界恐慌**・・1929 = **36歳**：

海軍軍縮条約1930 = 37歳：**第一回全日本婦選大会を開催、**

**満州事変**・・1931 = 38歳：**第二回全日本婦選大会の壇上で右翼に襲われる。**

毎年婦選大会を開催する一方、多くの組織づくりや運動に関わる。

芥川直木賞始1935 = 42歳：父が死去。

二二六事件・1936 = 43歳：**{婦選}を{女性展望}と改題。**

**日中戦争始**・1937 = 44歳：**戦時に対応するため8婦人団体で日本婦人団体連盟を組織、**

健保+総動員 1938 = **45歳**：

以後も国民総動員に関わる職務に次々と任命される。

**日米開戦**・・1941 = 48歳：**{女性展望}を廃刊。母が死去。**

・・・・・1942 = 49歳：**大日本言論報国会の理事に加えられる。**

創価学会検挙1943 = 50歳：**{戦時婦人読本}を刊行。**

年金+総武装 1944 = 51歳：八王子に疎開、

**敗戦**・・・1945 = 52歳：空襲で自宅と研究所が焼失。**敗戦後、新日本婦人同盟を組織し、**

新憲法公布・1946 = 53歳：**婦選会館が完成。{婦人有権者}発刊。**

新憲法施行・1947 = **54歳**：**戦時中の所属団体が問題となって公職追放、**

三大事件・・1949 = 56歳：婦人の日大会で婦選功労者として表彰される。養女をとる。

**朝鮮戦争始**・1950 = 57歳：**追放解除後、日本婦人有権者同盟と改称して、会長に就任。**

**独立回復**・・1951 = 58歳：

引き続き、女性の政治教育、地位向上に献身した。

TV放送始・・1953 = 60歳：**理想選挙を唱えて参議院議員に初当選(以後5回当選)。**

自衛隊発足・1954 = 61歳：婦人問題研究所から{婦人界展望}を発刊。

国連加盟・・1956 = **63歳**：

**イヌタラマ**・1958 = 65歳：第一回婦選会議。

この間も、婦人の地位向上や売春問題等に関わる諸団体の組織づくりなどを次々行う。

**安保闘争**・・1960 = 67歳：

全国総合計画1962 = 69歳：**財団法人婦選会館が認可され、理事長に就任。婦人問題研究所を解消。**

大学紛争始・1965 = **72歳**：

大阪万博・・1970 = 77歳：日本婦人有権者同盟会長を辞任。

**ドクショク**・・1971 = 78歳：参議院選挙で落選。

**日中国交回復**1972 = 79歳：**「私の政治小論」「私の婦人運動」出版。**

**石油ショック**1973 = 80歳：**朝日文化賞。**

角栄金脈辞任1974 = **81歳**：**参議院に復活当選。マグサイサイ賞。**

田中角栄逮捕1976 = 83歳：**「私の言いたいこと」。**

成田衝突・・1978 = 85歳：丸岡秀子ほかとの編・解説「日本婦人問題資料集成」。イタリアのアデライデ・リストーリ賞。

革新大敗北・1979 = 86歳：**「だいごんの花」。**エイボン女性大賞。

**貿易摩擦問題**1980 = 87歳：**全国区でトップ当選し、自伝映画「87歳の青春」も撮影したが、**

・・・・・1981 = 88歳：**没した。**

シリーズ「人間の記録」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、「わたちの20世紀・100人」、「日本の女性」